

令和5年度版

# 病院年報

第48巻



越谷市立病院

— smile, safety, satisfaction —

## 令和5年度病院年報発刊にあたって

院長 丸 木 親

コロナ禍後の病院収益の減少が全国的なレベルで問題となっている。当院においては令和5年度、6億円あまりの純損失を出すこととなった。新型コロナ関連の補助金がなくなった事、諸費用の値上がり、働き方改革に対応するための職員給与の増加も主な原因と思われるが、入院患者数の減少が最も響いて、いまだに病床稼働率はコロナ前の水準には回復出来ていない。救急からの入院でベッド稼働を少しでも上げる事以外に当面打つ手がない。2040年問題と言われる65歳以上の高齢者数の減少が病院経営の面からは危惧されており、入院需要は徐々に減ると言われている。しかし85歳以上の超高齢者の割合は増え続ける。そして多くの超高齢者は施設に入所されているか、在宅介護を受けている。埼玉県のDPC分析からは、超高齢者の転倒転落による骨折、頭部外傷、慢性心不全、脳梗塞、誤嚥性肺炎、肺炎などが多く、施設入所者がまた施設へと退院して行くことが多いとのことである。このような患者をみるための地域包括ケア病床を増やすことに各医療圏は躍起になっているが、あまり収益性が良くない事もあり、手を挙げる病院は少ない。埼玉県現状を見ると、これからもこのような患者を急性期病院、特に地域の公的な病院や自治体病院などがまずは受け入れ、病院のケースワーカーを通じて速やかに地域包括ケアシステムに乗せて在宅や施設にという対処が現実的なのではないかと思われる。当院では超高齢者のフレイル、体動困難なども可能な限り受け入れようと総合診療科にファーストタッチをお願いし、令和6年度から獨協医科大学埼玉医療センターから救急医の応援も依頼し、入院先の科が決まらない場合には、各科輪番制でこのような患者を受け入れている。また、退院後を見据えてケースワーカーの増員も行った。事務部では経営企画課を設置し、物品の共同購入の検討、DPCを意識した業務を推進している。これは少し明るいニュースかも知れないが、産科領域では、埼玉県内の出産数は全国と比べて低下率が鈍くなっており、これは外国人の出産が増えていることも要因と聞いている。多様性に対応できる病院

の設備、体制を工夫することが必要と思われる。また共働きの20～30代の女性の出産数が少子化歯止めには鍵を握っていると言われていたが、小児科、産科など、これからは休日の通常診療、妊産婦検診なども考慮しなくてはならないだろう。いずれにしてもこれからの自治体病院の役割とは、少しでもレベルの高い医療を提供するとともに、地域に生じる新たな社会問題に迅速柔軟に対応し、体制を整えることが大切であることを忘れてはならない。原点に戻り、我々がどのような患者を診たいのかではなく、どのような患者のニーズがあるのかを考えるべきではないだろうか。

## 病 院 の 理 念

私たちは地域の健康を守るため最良の医療を志向し、自治体病院の使命である地域における行政、医療機関、介護施設等との連携、地域に必要とされる医療の公平、公正な実施、地域の健全な発展への貢献を果たすため、次のことを実践します。

－ smile , safety , satisfaction －

- 私たちは病院の使命を自覚し、患者様のニーズに応える医療を提供します。
- 私たちは医療の向上に努め、生命の尊厳を重視し安全な医療を提供します。
- 私たちは患者様の視点に立ち、患者様が満足できる医療を提供します。

平成14年4月1日制定  
令和5年2月1日改定

## 基 本 方 針

- 1) 救急医療を充実させ、地域住民の求める医療に積極的に応えます。
- 2) 医療連携を積極的に推進し、地域に根ざした医療を展開します。
- 3) 安全な医療を旨とし、医療の質・患者サービスの向上を図ります。
- 4) 確かな技術で、高度な医療を展開します。
- 5) 職員は使命感と誇りを持ち、責任ある医療を実践します。
- 6) 安定した経営基盤を確立し、限りある医療資源を有効に活用します。
- 7) 「患者の権利と責務」を遵守し、患者様との信頼関係に結ばれた医療の提供を目指します。

平成19年4月1日制定  
平成30年4月1日改定  
令和5年2月1日改定

# 目 次

## 第1章 概 要

(1) 病院の概要	1
(2) 病院の沿革	3
(3) 届出に関する事項	13
(4) 配置図等	17
(5) 病院機構図	19
(6) 施設の概要	21
(7) 主要医療機器等一覧	23

## 第2章 令和5年度業務

### 第1節 管理業務

(1) 職員に関すること	26
(2) 財務に関すること	28
(3) 業務の委託	36
(4) 光熱水費の状況	38

### 第2節 病院業務

(1) 患者数調べ	39
(2) 診療報酬に関すること	44
(3) 院内死亡数及び解剖数	45
(4) 臨床検査科業務	46
(5) 薬剤科業務	49
(6) 栄養科業務	53
(7) 放射線科業務	55
(8) 内視鏡室業務	62
(9) 手術室業務	63
(10) リハビリテーション科業務	64
(11) 臨床工学科業務	67
(12) 看護部業務	69
(13) 緩和ケア業務	73

### 第3章 研究業務

(1) 学会等における研究発表及び講演	74
(2) 著書及び論文発表	87
(3) 令和5年度ガス・メス納め集会より	
1) 麻酔科 麻酔科・手術室手術統計	89
2) 循環器科 循環器科年次報告	90
3) 外科 外科手術統計	91
4) 整形外科 整形外科手術統計	92
5) 脳神経外科 脳神経外科手術統計	94
6) 泌尿器科 泌尿器科手術統計	95
7) 産科・婦人科 産科・婦人科手術・分娩統計	96
8) 眼科 眼科手術統計	97
9) 耳鼻咽喉科 耳鼻咽喉科手術統計	98
10) 小児科 小児科入院統計	99
11) 臨床検査科・病理診断科 病理・細胞診・解剖統計	100
案内図	102